

『滑稽』探索 田河水泡の研究とコレクション



【期 間】11月18日(土)～2018年1月21日(日)

【場 所】町田市立博物館

漫画『のらくろ』の作者で、晩年を町田で過ごした田河水泡。『滑稽』研究家でもあった田河が収集し、後に博物館に寄贈した幕末から昭和にかけての浮世絵や草双紙、風刺画などの数多くの滑稽画コレクションを紹介すると共に、彼の歩みやその研究をたどる。作品の途中入替有。月曜休館(祝日は開館)翌日休館、年末年始休館)入館料300円(中学生以下無料、障がい者半額)
☎042-726-1531

鶴川ショートムービー コンテスト入選作品上映会



【期 間】11月23日(休 祝)～27日(月)

【場 所】和光大学ポリホール鶴川1階カフェ

観るだけでなく、作る楽しさを体感できる映画祭。2015年から始まり、第3回を迎えた今回は73作品が集まった。上映する入選作品18本は、いずれも他では見られない個性豊かな作品ばかり。来場者の一票も観客賞に反映される。17時～20時。12月3日(日)の授賞式では、グランプリをはじめとする各賞の発表と上映が行われる。どちらも入場無料。詳細は、『鶴川ショートムービーコンテスト』で検索を。

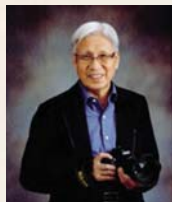
町田天満宮 がらくた骨董市



【期 間】毎月1日(2018年1月は10日(水)開催)

【場 所】町田天満宮 境内

100を超える骨董店が軒を連ねる人気の骨董市。陶磁器や漆器、雑貨、古書・古本、古道具、古銭、金物などの生活用品、アクセサリ、昭和レトロなおもちゃのほか、こんなもの?というガラクタまで並ぶ。早朝から掘り出し物を探す常連や和物アンティークマニアの外国人、リメイク着物狙いの女性など、毎月、大勢の人で賑わう。雨天決行 7時～15時 入場無料
☎090-3314-1994(古久根)



まちびと写真館 国鉄町田駅前せせらぎ広場

昭和56年頃

其の八

撮影した人 渋谷 雅男氏

1936年、森野に生まれる。
中学時代から写真を始め、日本写真学園卒業後、1999年まで森野で写真スタジオ“ギャラン・フォト”を経営。新日本写真協会NJP文化功労賞ほか多くの受賞歴を持つ。新日本写真協会、写団まちだ代表。



人々に潤いを与えた
懐かしい場所

1980年4月、町田の玄関口が新しくなった。現バスターミナルにあった国鉄の原町田駅が移転し、町田駅と改称。小田急線の新原町田駅も町田駅となり、9月にはマルイが、10月には東急百貨店町田店がオープン、商都町田は更に勢いを増していった。

噴水のある「せせらぎ広場」が完成したのはその翌年の3月のこと。木々が木陰を作り、静かに水が流れる噴水では子どもたちが水と戯れ、買い物客が足を休めた。近くには懐かしい都南デパートや文具のなまじまがあった。

2002年2月、都市計画道路3・4・11号線の着工に伴い、このせせらぎ広場は取り壊されることになる。そして11月8日、町田街道からJRR町田駅までが開通し、交通の利便性と引き換えに、市民の憩いの場は記憶の中の風景となった。

それから5年後、東急百貨店は27年の営業に幕を閉じ、町田東急インズとしてリニューアルした。地上5階のクリスタルブリッジは当時と同じ姿のまま、移りゆく様を静かに見下ろしている。

きらり×瑞宝太鼓 かがやく笑顔つながって



【期 間】12月2日(土)

【場 所】町田市民ホール

ひなた村を中心にそれぞれの感性を輝かせようと活動している和太鼓仲間「きらり」。天井の音色と評され、町田に初登場する長崎の「瑞宝太鼓」を迎えてのスペシャルコンサートは夢への挑戦。障がいも個性としてそれぞれの想いを乗せ、共に一つの演目に向かう笑顔いっぱい姿を是非。15時開演大人2,000円、学生・障がい者1,000円、幼児無料(席が必要な場合は1,000円)
☎090-3206-0283(山本)

市民協働フェスティバル 「まちカフェ!」



【期 間】12月3日(日)

【場 所】町田市役所1～3階

町田市内で活動するNPO法人や市民活動団体、町内会・自治会などが一堂に会し、活動紹介やワークショップを通じて交流を深めるまちカフェ!は今年で11回目。「いいことさがし〜魅力と個性をシェアするまちだ」をテーマに楽しいイベントが盛りだくさん。「よろず相談所」では、市民活動や地域に関する相談などを受け付ける。10時～16時、入場無料
☎市民協働推進課 042-724-4362

『四月の永い夢』 2018年春、劇場公開



Tokyo New Cinema(町田市中町)制作、第39回モスクワ国際映画祭にてW受賞を果たした映画『四月の永い夢』。滝本初海27歳のときに、3年前の春に亡くなった恋人からの手紙が届く。胸に抱えた「秘密」、青年からの告白、教え子との再会。一枚の手紙をきっかけに日常が動き出す。主演は『かくや姫の物語』の朝倉あき。監督は最年少で東京国際映画祭2年連続入選を果たした中川龍太郎。モスクワで認められた町田発の話題作は2018年春、劇場公開。
☎Tokyo New Cinema 042-720-1024